

在宅就労支援プログラム 就労準備 ⑱

2020/8/7(金) a.m.

一般社団法人リエンゲージメント

本日のテーマ

「面接（2）」

就職の流れ

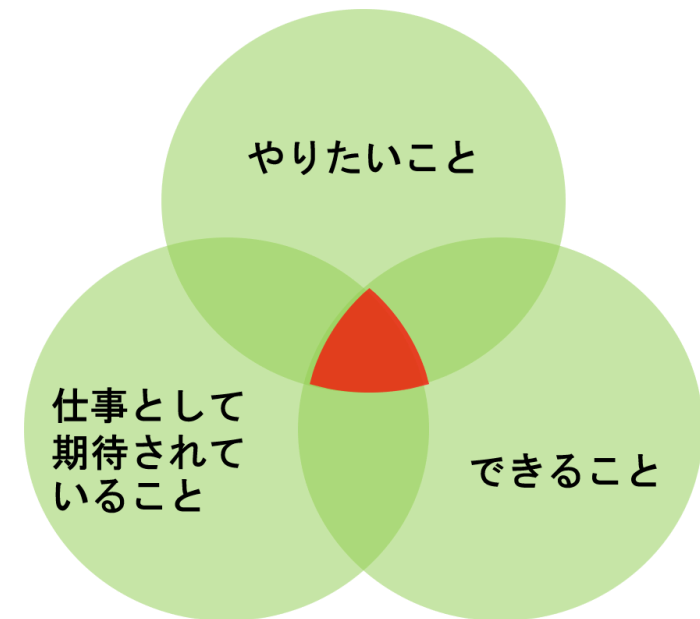
1. 職業準備性を整える
2. マッチング（自己理解、棚卸、見学、実習）
3. 応募書類の準備（履歴書、職務経歴書）
4. 求人検索（ハローワーク、エージェント、自己応募）
5. 応募
6. 選考（書類選考、面接）
7. 内定
8. 就職
9. 定着

面接の目的

- 採用面接の目的は

⇒求職者（応募者）が
求人者（企業など）の
ニーズを満たす人材かどうか
見極めること。

⇒マッチングを見極めること。



面接編～面接では何をチェックされているのか～



①長く働けるか（定着できるか）

②適性があるか

③人柄・仕事への姿勢

面接では何を見られているか？

- **Point1：長く働けるか（定着できるか）？**
 - **職業準備性が整っているか？**
 - **病状は安定しているか？**
 - **セルフマネジメントができていますか？**

 - **質問例：**
 - 「現在の病状について教えてください」
 - 「前職の退職理由は？」
 - 「どんなことでストレスを感じますか？」
 - 「ストレス対処方法を教えてください」

面接では何を見られているか？

- **Point2 : 適性**

- やってもらいたい仕事に適性があるか
- 今までの経験を生かせるか
- 仕事に必要なスキルを持っているか

- 質問例：
 - 「どんな仕事をしてきましたか」
 - 「あなたの得意なこと、苦手なことは何ですか」
 - 「いつも仕事で意識していたことは何ですか」

面接では何を見られているか？（デューダチャレンジ）

- **Point3：人柄（社風に合うか、ビジネスマナーはあるか）**
 - 仲間として一緒に働きたいと思えるか
 - 身だしなみ、コミュニケーションの仕方など、気配りをしているか

面接編～面接前日までの準備～

- ① 自己PRを用意しておく
(自信を持って面接に臨むために忘れずに準備しましょう)
- ② 企業の情報を把握しておく
(会社案内やホームページをもう一度確認しておきましょう)
- ③ よく聞かれる質問の答えを用意しておく
(回答の丸暗記ではなく、質問に対する返答テーマを覚えましょう)
- ④ 提出済の書類を確認する
(面接では、履歴書・職務経歴書の内容について質問されることが多くあります)
- ⑤ 前向きな質問を3つ以上用意する
(ほとんどの面接で最後に「何か質問はありますか」と聞かれます)

面接編～面接での質問内容～

- これから面接を控えている人が一番知りたい情報は、**面接官からの質問内容**だと思います。予め質問内容がわかっているならば、事前に対策することができます。
- 面接は傾向を知り対策さえ行っていれば、本番の面接で緊張することなく自らの力を最大限に発揮することができます。面接は自身の人柄をわかってもらえる唯一の場所です。これから質問内容の傾向と対策について学んでいきましょう。

～面接でよく聞かれる質問～

以下は面接で聞かれる可能性が非常に高い質問です。これらの質問に対する回答はあらかじめまとめておきましょう。

- 自己紹介
- 病状と現状について
- 配慮事項
- 前職の退職理由
- 今までの職歴の中で得意だった仕事と苦手だった仕事
- ストレス発散方法

逆質問について

- 3～5つは用意しておく。
- 「特にありません」という答えはしないように心がける
- 求人票、ホームページなどをよく読んで疑問に思ったことをメモしておく。
- 自分で調べればわかることは質問しない
- 前向きな質問をこころがける

よくある質問（個人について）

1. 自己紹介
2. 自己PR
3. 通勤時間・通勤経路について
4. 長所・短所
5. 学生時代に学んだこと
6. 資格・免許について
7. 余暇の過ごし方・趣味
8. ストレスを感じること、ストレスのサイン
9. ストレス対処法
10. 就労移行支援事業所について
11. 履歴書のブランク期間について

よくある質問（仕事関連）

1. 職務経歴
2. 前職の退職理由
3. 志望理由
4. 生かせる経験・スキル
5. パソコンのスキルについて
6. 失敗エピソード
7. 会社・製品・サービスについて
8. 他への応募状況
9. 仕事を選ぶ基準
10. 希望職種
11. 希望年収
12. 希望入社日
13. 今後のキャリア

よくある質問（障害関連）

1. 障害について
2. 現在の状況について
3. 発症経緯
4. 今後考えられる症状について
5. 必要な合理的配慮
6. 障害の開示範囲について
7. 日常生活で意識していること
8. 通院について
9. 服薬について

よくある質問（その他）

1. 成功体験・失敗体験
2. 周りの人からの評価
3. 逆質問

障害者採用担当者が教える「不採用理由」一覧

- 質問に対する回答が的外れで、コミュニケーションに問題を感じる
- 障害について尋ねても回答が曖昧、自分の障害についての理解が足りない
- ホームページも見ておらず、準備不足 = 志望度が低い
- 聞いてもいないことまで延々と話すわりに、中身がない
- 話の内容に一貫性がない
- 第一印象が悪い（挨拶がない・小さい、スーツが汚れている・よれよれ）
- 態度が悪い（話し方が偉そう、肘をつく）
- 声に元気がない・覇気がない、笑顔がない
- 話し方が嘘くさい、胡散くさい
- うち（会社）のカラー（企業文化・風土）に合わない
- やる気が感じられない

[ワーク]

「よくある質問」の中から3つ以上の質問を選び、回答を作成してみましょう。

上記課題はファイルに記入しても良いですし、メールに直接打ち込んでいただいても構いません、

プログラムはここで終了です。お疲れ様でした。



おつかれさまでした